

泉大津市で第2市民共同発電所を目指して

自然エネルギー市民の会&おづ自然エネルギー市民の会のとりくみ

第2市民共同発電所を目指して

おづ自然エネルギー市民の会は、8月2日付でNPO法人の認証を受けました。

泉大津市が12月1日締切で「市民共同発電所の運営主体の募集」を始めました。場所は保育園跡地約1000㎡で、50kWの太陽光発電の設置が可能です。「おづ市民の会」は、これに応募して選定されれば年度内の完成を目指します。

これまでに、「おづ市民の会」運営委員会で、(株)Loopの方に参加いただき「MY発電所キット50」の検討を、また(株)エコテックに設計図、影の問題、太陽光の反射の問題について説明を受けて検討を行いました。また、自然エネルギー市民の会が開催したクラウドファンディング勉強会に参加し、資金調達方法についても検討を行ってきました。

ペットボトルソーラーカー工作教室で市民啓発(8/5)



昨年に引き続き、泉大津市が主催し、PAREが業務委託を受ける形で、夏休み親子環境教室「自然のエネルギーを感じよう」を開催しました。親子130名の参加があり会場いっぱいとなりました。(8-9ページ参照)

エネママまつり(8/21)

エネママまつり in 大阪 ATC 実行委員会の主催で開催されました。エネママまつりは、3.11から、電気やガスが安定して家庭に届く「あたりまえの暮らし」を見直し、子どもたちに残したい未来、とりわけエネルギーについて、ママたちが「私たちの問題」として本気で考えよう。また、「電力自由化」を機に、エネルギーを考える催しとして開催されました。

PAREの企画部員を中心にブースを出展しました。

「クリーンエネルギーフェア 2016」でパネル展示、工作、講演会を開催(11/5)



今年は、CASAとおづ自然エネルギー市民の会も協力し、共同でとりくみました。

この企画には、泉大津環境活動基金を活用しました。環境活動基金は、泉大津汐見市民共同発電所の売電収入の2%を泉大津市で環境活動をすすめる基金として積み立てているものです。

パネル展示は、泉大津汐見市民共同発電所は市民が出資して作った、発電は順調に推移、第2市民共同発電所が具体化したときには協力をお願いしたい、などを訴えました。工作コーナーは、ブラ風車と手編み風車作りで、大人にも子どもにも好評で約60名が風車づくりを体験しました。

講演会は「地球温暖化の今と、これから」をテーマに大阪管区気象台地球温暖化情報官・楠田雅紀さん、「事業所における省エネ対策のポイント」をテーマに大阪府地球温暖化防止活動推進センター・高見勝重さんが行いました。約40名の参加がありました。

